

オラクルカードリーダーのお役目

オラクルカードリーダーさんが、チャネラーのお役目について何も知らないまま、お客様対応をすると、「非常に問題が多い」ほとんどお役に立てないレベルお客様を受け入れてしまって、困る場合もあるかと思いますので、オラクルカードリーダーのお役目についての重要な部分を書いておきます。（これは豆知識なのでテクニク的な教材ではありません）

オラクルカードリーダーにできること

- ✓ お客様の心に寄り添える
- ✓ 天使や女神が傍にいたような、心地よさと安心感を与えることができる
- ✓ お困りごとに傾聴し、たまったストレスを言葉にして吐き出してもらえ
- ✓ 高次元のスピリットガイドのメッセージをお伝えできる
- ✓ ガイドから届いた言葉で、元気づけ、勇気づけることができる
- ✓ 望みを実現するための、正しい方向性を示すことができる
- ✓ 何か大切な気づき、違った角度から見える物事の捉え方をお伝えできる
- ✓ 不要な価値観や、何かがズレている思い込みに気付いてもらうことができる

チャネリングやリーディングは、慣れてくると上記のようなことができるようになりますが、心理カウンセリングなどとは違い、直感重視のため、心理学の技術を使うわけではありませんので、オラクルカードリーディングで心理を最下層まで深堀りをするのは難しく、トラウマをしっかり外してあげることは、基本的にはできません。お客様の強いトラウマや強い思い込みを、しっかり外せるようになりたい人は、スピ系と同時に、心理技術がしっかり確立されている、心理学や心理カウンセリングを習得するのが最も近道になります。オラクルカードリーダーの場合、お客様に寄り添って、宇宙の愛のエネルギーで心を癒し、ガイドさんに守られている心地よさを体験してもらい、愛で包まれる安心感を得てもらい、スピリチュアルなメッセージを受け取って、「光の道はこっちだよ！」と教えてあげる人だと、私は思っています。お客様を救う役目というよりも、「癒す+道を教える+背中を押す」それができるお役目だと思いますが、上級傾聴をマスターすると問題解決力もかなり上がります。

メインになるのはどんなお客様？

オラクルカードリーディングで、来てくれると1番ラク？という言い方は良くないですが、こちらが困らないお客様は、「コーチング」を必要としているお客様です。2番目が、「カウンセリング」が必要な人で、「セラピー」が最も難しい分野になります。

① セラピー系が必要な人

マインドに深刻な問題がある人には、セラピーが必要なのですが、例えば、死にたいくらい悩んでいる人、超超超マイナス思考の人、問題が山積みの人などは、まずは心を根本から深く癒す+治す必要があり、トラウマの部分に下手に触れない方がいい場合があります。マイナスエネルギーの影響を受けやすいカードリーダーさんは特になのですが、セラピーが必要な人の相談は基本的には受けないようにしましょう。セラピーが必要なお客様は、チャネラーのアドバイスが腑に落ちにくく、セッションに満足できる人が少なめです。人生全体がうまくいっていないことも多いため、お金もなくて無料でリーディングして欲しいと思っている人も多いように思います。まずは、国がやっている無料電話相談窓口などに行ってもらったほうがよいかもしれないような人も中にはいます。

② カウンセリング系が必要な人

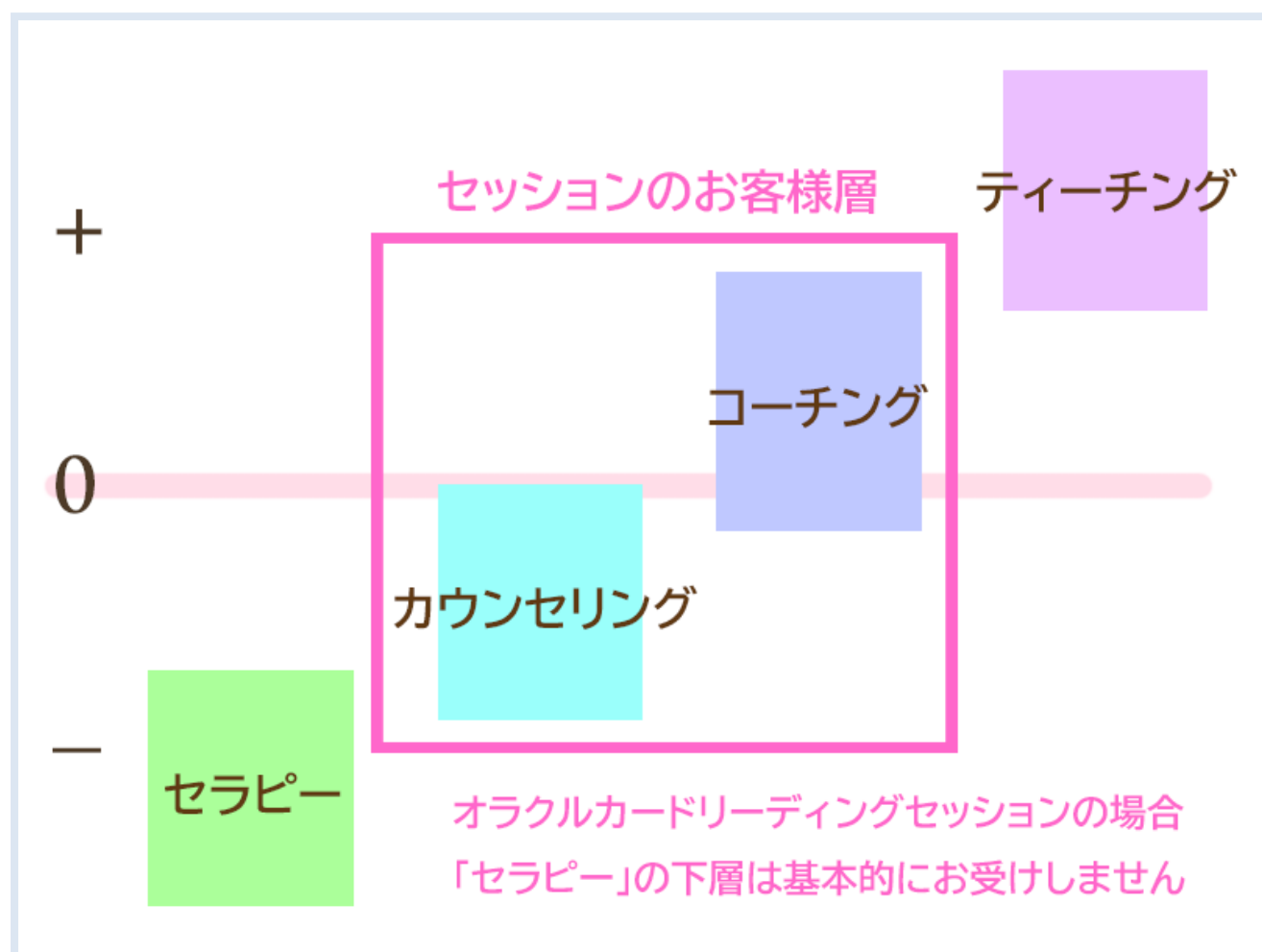
前述の、セラピーが必要な人とは違い、普通のお悩み相談レベルのお客様です。オラクルカードリーダーが悩みを聞いてあげる（傾聴・カウンセリング）だけでも多少スッキリできたり、癒されたりする、などの良いセッションが期待できます。②の人に、さらにスピリットガイドのメッセージをお伝えし、方向性を示せば、未来に希望が持てて、元気になる人も多めです。心がスッキリすれば背中も押してあげられますので、1歩前へ踏み出すことができ、オラクルカードリーダー側もお役に立てたという自信につながりやすいと思います。①と②ではお悩みの度合いがかなり違いますので、初心者カードリーダーさんは、①に該当するお客様を避けて、②と③のお客様だけをリーディングするのが、お仕事が簡単だということは、豆知識として覚えておくと良いでしょう。

③ コーチングが必要な人

コーチングは、対象者の主体性や自発性などを高める指導方法という意味ですが、ピッタリ合う言葉が思いつかなかったのが、コーチングという表現にしました。コーチングが必要なお客様は、少しくらい凹んでいても、オラクルカードリーダーがアドバイスしてあげたり、やり方や進み方さえ教えてあげれば、自発的に早めに行動して、目的をある程度達成できる可能性が割合高いお客様です。③の人はメッセージやアドバイスを素直に受け取ってくれて、自己肯定感もそんなには低くありませんし、トラウマや恐れも強くない人が多いように思います。ですので、お互いに、スムーズでスッキリして気持ちいいセッションが出来ると思います。

オラクルカードリーディングセッションは、主に、上の①～③の段階にいるお客様がいらっしやいますが、基本的には、「②」と「③」のお客様を対象にセッションをされるのがよいかなと私個人としては思っています。心理カウンセラーの上級テクニックが使えるオラクルカードリーダーさんであれば、「①」のお客様でも対処可能だと思います。さきほども①のところでお書きしたように、スピリットガイドのメッセージを素直に受け取れない人には、上級の心理カウンセラーでないと対応が難しいですし、そもそも、**オラクルカードリーダーのお役目は、「“癒せる相手”を癒すこと」+「光のメッセージを伝えること」+「未来に希望があることを伝えること」+「背中を押すこと」**です。メッセージを素直に受け入れることができないお客様や、触ると火傷しそうなお客様のご相談を無理にお引き受けにならなくても全然良いと私は思います。なぜかと言うと、そんなお客様は思い込みが強すぎるため、どんなにポジティブで素敵なメッセージをお伝えしても、全力で突っぱね返されてしまう時もあるからなのです。その場合は、まずは不要な思い込みから外さなければなりませんね(；´∀`)不要な思い込みがあることに気づいてもらえない限り、ベテランのオラクルカードリーダーでもどうにもしてあげられないことがあります。ということで、対処が難しいお客様のことで、あなた様が悩んで苦しくならないように、お断りする勇気も時には必要になるかもしれませんし、これらは結構重要なことなので追加教材としてお付けしました。②と③のお客様は、初心者のおラクルカードリーダーさんでも、お悩みリーディングができるお客様ですので、今後の参考になりましたら幸いです。

オラクルカードリーディングのお客様層とマインド



上の図の、左側にある「－」、「0」、「＋」は、お客様の心理状態です。マイナスの人は、ネガティブ思考で、プラスの人はポジティブ思考か、ニュートラル思考系です。

「セラピー」が必要なお客様の中には、「死にたい系」「スーパーネガティブ思考系」の深すぎるお悩みの人たちが少なからずいますので、「命の電話」などの無料相談か、1000円以下の安いセッションしか受けない人も多い傾向があります。人生自体がうまくいっていないため、お金がない人が一番多い層です。しかも、上級の心理カウンセリング技術に匹敵するスキルを持っている人でしか、セラピーが必要な領域の人の死にたいほどの苦しみを取り除いてあげることができないため、オラクルカードリーディングでは、セラピー領域の方々のご相談は、基本にお引き受けしません。（セラピー層の中でも最上層辺りなら、お力になれる可能性があります）

お客様のマインドの領域

セラピーが必要な人の傾向

- ・死にたい！
- ・助けて！
- ・八方塞がり
- ・全てにおいてマイナス思考
- ・人生が1つも上手くいかない
- ・すべてに絶望
- ・トラウマが多すぎる
- ・自己肯定感が最下層
- ・お金がない
- ・スピを信じない
- ・重度の依存癖
- ・過度な被害妄想、何かを強く恨んでいる
- ・意見は聞けないくらい頑固な状態
- ・恨み、全て他人のせい
- ・重度の鬱
- ・「でも」が口癖（どんなに良いアドバイスをして「でも…」で返される）

カウンセリングが必要な人の傾向

- ・悩みはあるけど死にたいほどではない
- ・トラウマが多少ある
- ・自己肯定感が低い、自信がない
- ・マイナス思考
- ・改善したい気持ちがある
- ・スピリチュアルが割と好き、割と信じている
- ・悩みを傾聴してもらえると多少スッキリする
- ・頭の中を整理できていない
- ・視点が変われば気持ちが楽になり元気になる
- ・自立心が弱め
- ・上手くいってなくても一筋の希望は捨てていない
- ・カードリーダーの話もある程度は素直に聞ける状態
- ・多少なりとも人に感謝ができる
- ・軽度の依存

- ・行動できない
- ・他責にしすぎない
- ・HSP の傾向
- ・軽度鬱の傾向

コーチングが必要な人の傾向

- ・自己肯定感が普通、または、まあまあ高め
- ・トラウマや不安は少なく、強いトラウマがない
- ・悩みは少なめ、強く悩んではいない
- ・基本的には前向きや今向き
- ・夢がある、未来に期待している
- ・アドバイスすると前へ進める、行動できる
- ・継続サポート、定期購入、リピート購入してくれやすい層
- ・大切なことに気付ける
- ・自立心がある
- ・他人にそんなには依存しない
- ・視点が偏りすぎていない
- ・柔軟に思考を切り替えられる
- ・スピリチュアル大好きで
- ・カードリーダーの話を素直に聞ける状態
- ・リーディングの結果、成果が出やすい

ティーチングが必要な人の傾向

- ・方向性だけ迷っている
- ・ノウハウを教えて欲しい
- ・アイデアや情報が欲しい
- ・トラウマやブロックがほとんどない
- ・自己肯定感が高く、基本的に自信がある
- ・道を示すだけで自発的に行動できる
- ・自分で考えて、自分で判断できる
- ・リーディングの結果、成果がよく出る、成果が早い
- ・高単価の講座を購入してくれやすい層

ティーチングが必要なお客様は、ノウハウ（知識）を求めている場合が多いため、講座を提供するほうが喜んでいただける場合があります。悩みがなく、不安もなく、行動力がある人が多いため、成果が出やすく、リーディング自体も、やりやすい傾向があります。